

2020年8月23日

## 2021年度 大学院経営管理研究科

### 経営管理専攻 修士課程

入学試験（研究者養成コース 一般選考・外国人特別選考）

### 【専門論述試験問題】

#### 解答上の注意

- ・ 以下の1.～5.の問題のうち1題を選択し、日本語で解答すること。なお、希望指導教員の専門分野に拘らず、どの1題を選んでもよい。
- ・ 1題が複数問で構成されている場合は、それを構成する全ての問題に解答すること。
- ・ 解答用紙の問題番号選択欄では、選択した問題番号に○をすること。
- ・ 解答用紙は1枚とする。ただし、裏面も使用できる。
- ・ 解答は、横書きにすること。

#### [経営]

1. 以下の全ての問いに答えなさい。

- (1) フレデリック・ハーズバーグが提唱した二要因理論における「動機付け要因」と「衛生要因」について、それぞれ説明しなさい。
- (2) 他社に先行して生産・販売することによって、その後から生産・販売する企業よりもシェアや利益の面で有利になることを先行者優位 (first mover advantage) と呼ぶ。先行した企業が有利になるのはどのような場合か、説明しなさい。
- (3) 市場参入後、時間が経過して市場環境が変化すれば、先行者優位が維持出来ずに後発者が有利になる場合がある。どのような市場環境の変化があった場合に後発者が有利になりうるか、説明しなさい。

## 【マーケティング】

2. 以下の全ての問いに答えなさい。

(1) 消費者が特定のブランドの製品を反復的に購買している状態をロイヤリティがあると定義するとき、ロイヤリティがある場合のブランドへの態度は2種類想定できる。それぞれどのような態度であるか、説明しなさい。

(2) アメリカ・マーケティング協会によれば、エンゲージメントは次のように定義される。

Engagement, within the marketing field, refers to a means of capturing the attention or establishing connections with an audience. Engagement on social media channels, for example, can be reactions, likes, follows, retweets, etc. Essentially it is the epitome of an audience interacting with a brand or content.

(<https://www.ama.org/topics/engagement/> より一部改変し引用)

注) epitome : 典型、縮図

このエンゲージメントの定義と、(1)のロイヤリティの定義とを比較して、消費者の購買行動と態度の2つの側面から両者の違いを説明しなさい。

(3) マーケティング活動の成果を考える上で、ロイヤリティとエンゲージメントをどのように使い分けるのが望ましいか。理由とともに説明しなさい。

## 【会計】

3. 以下の全ての問いに答えなさい。

(1) 期間損益計算のもとでの製品原価に関する次の問いに答えなさい。

- ① 製品に集計される原価（製品原価）の内容について説明しなさい。
- ② 製品原価と売上原価の関係について説明しなさい。

(2) 販売価格の意思決定目的のもとでの製品原価に関する次の問いに答えなさい。

- ① 製品原価の役割について説明しなさい。
- ② 製品に集計される原価（製品原価）の内容について、例を挙げて具体的に説明しなさい。

**[金融]**

4. 以下の全ての問いに答えなさい。

- (1) 情報の非対称性が企業の資金調達に与える影響について説明しなさい。
- (2) ポートフォリオ理論における分離定理について図を用いて説明しなさい。
- (3) 所有と経営が分離している企業では、経営者が株主に対してモラルハザードを起こす可能性がある。経営者によるモラルハザードの具体的内容及び解決方法について説明しなさい。

**[共通基礎問題]**

5. 以下の全ての問いに答えなさい。結論に至った計算等の過程も示しなさい。

- (1) ガウス関数のフーリエ変換  $F(w) = \int_{-\infty}^{\infty} e^{-x^2} e^{-iwx} dx$  を計算しなさい。また、得られた関数  $F(w)$  を図示しなさい。  
但し、 $i^2 = -1$  である。
- (2)  $\mathbb{R}^2$ 上実数値関数  $f(x, y) = (ax^2 + by^2)e^{-x^2 - y^2}$  ( $a > 0, b > 0$ ) の極値を求めなさい。
- (3) 表で示すデータに関して、①から④に答えなさい。

$x$	3	5	1	4	2
$y$	8	15	4	14	9

- ① 最小二乗法を用いて $y$ を $x$ に直線回帰させる回帰式を求めなさい。
- ② ①で求めた回帰式の決定係数を求めなさい。
- ③  $x$ 変数が $y$ 変数に対して説明力があるかどうかを①で求めた回帰直線の傾きに関する帰無仮説をたてて有意水準5%で検定しなさい。  
ここで、自由度  $n$  の  $t$  分布の上側  $100p\%$  点  $t_p(n)$  の値  $t_{0.025}(3) = 3.182$ ,  
 $t_{0.025}(4) = 2.776$ ,  $t_{0.025}(5) = 2.571$ ,  $t_{0.025}(6) = 2.447$ ,  $t_{0.05}(3) = 2.353$ ,  $t_{0.05}(4) = 2.132$ ,  $t_{0.05}(5) = 2.015$ ,  $t_{0.05}(6) = 1.943$  を用いてよい。
- ④ ①のように回帰直線を求める際に、最小二乗法の代わりに用いることのできる方法を図や数式を用いて説明しなさい。また、その方法と最小二乗法の優劣を理由と共に述べなさい。